

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 ぎふスタートアップキャンプ事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部商業・金融課資金融資係 電話番号：058-272-1111(内3063)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,410 千円 (前年度予算額：2,410 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,410	1,205	0	0	0	0	0	0	1,205
要求額	2,410	1,205	0	0	0	0	0	0	1,205
決定額	2,410	1,205	0	0	0	0	0	0	1,205

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県は、人口の自然減に加え、社会減が続いており、2018年9月には200万人を下回った。社会的要因（就業、学業、結婚など）による減少のうち、特に、7000人の大学進学者のうち、5000人以上が県外へ進学し、若者の流出が深刻となっている。

また、直近10年間のスタートアップ比率は5.47%で全国最下位と言われている(2018/10日経ビジネスより)。

このような中、新産業・新サービスの創出と担い手の育成が急務となっている。

(2) 事業内容

起業体験を積みたい方、新規事業を立ち上げたい方を対象に、2日間のデイキャンプによりスタートアップをリアルに経験できるワークショップを開催するため、実施主体となる(公財)岐阜県産業経済振興センターに対し、事業実施に必要な経費を補助する。

当該事業では、県の起業支援施策の紹介や資金調達について学ぶほか、コーチや県内の起業家(メンター)からアドバイスをもらいながらチームでビジネスプランを作成することで、起業や新事業の立ち上げへの関心を高める。

また、参加者の起業をキャンプ後も継続的に支援するため、よろず支援拠点、ものづくりコーディネーターによるフォローアップにより、他の連携可能な支援事業へと繋げるなど、伴走支援を行う。

○「ぎふスタートアップキャンプ」

- <1日目>・先輩起業家による起業マインド醸成
 - ・チームによるビジネスプラン構築とコーチ指導
- <2日目>・チームによるビジネスプラン構築とコーチ指導
 - ・コーチを交えたビジネスプラン発表の練習
- <後日>・成果発表会

(3) 県負担・補助率の考え方

新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手の創出は県経済の振興につながるものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳 (単位：千円)

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,410	・ぎふスタートアップキャンプ 業務委託料 1,507千円 内訳：講師謝金(1,000千円)、 講師費用弁償・委託先職員旅費等(507千円) ・事務費 903千円 内訳：旅費(42千円)、会場使用料(174千円) 消耗品・通信運搬費等(687千円)
合計	2,410	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

他県(近県では愛知県)においても、短期間で事業プランの作成・ブラッシュアップを図るといった同様の取組みを行い、革新的なアイデアで起業を目指す人材を支援している。

(2) 事業主体及びその妥当性

(公財)岐阜県産業経済振興センターは中小企業支援の中核機関として高いレベルの専門的知識・実務経験を有する公的な産業支援機関であり、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ぎふスタートアップキャンプ事業費補助金
補助事業者（団体）	公益財団法人岐阜県産業経済振興センター （理由） 当センターは中小企業支援の中核機関として高いレベルの専門的知識・実務経験を有する公的な産業支援機関であるため。
補助事業の概要	（目的） 起業支援 （内容） ぎふスタートアップキャンプ開催事業費に対する補助
補助率・補助単価等	定率 （内容） 10/10 （理由） 当該センターは独自の財源を持たないため。
補助効果	起業体験の機会を提供することで、起業や新事業の立ち上げへの関心を高め、将来の起業家を育成する。
終期の設定	終期 令和4年度 （理由） 事業開始から3年を目途に設定。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか ビジネスプランの作成を通じて起業を体験する「ぎふスタートアップキャンプ」を開催し、起業の機運を醸成する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①事前説明会・セミナー受講者数	0	0	40	80	80 (R2～R4累計)	0%
②スタートアップキャンプ受講者数	0	0	30	60	60 (R2～R4累計)	0%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
			0

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2泊3日の合宿型形式での実施は困難と判断して事業を中止した。
	指標① 目標：40 実績：0 達成率：0 %
	指標② 目標：30 実績：0 達成率：0 %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	事業実施により、県内における新産業・新サービスの創出促進と担い手の育成に寄与することが期待される。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 0	2泊3日の合宿型形式から2日のデイキャンプ形式とすることで、コロナ禍に即した実施を図ることとしている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	開催形式を見直すことで、事業実施と新型コロナウイルス感染症拡大防止とを図ることとしている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 金融機関や大学、産業支援機関、県等で構成される岐阜県スタートアップ支援ネットワークと連携をしながら起業支援を行う。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか キャンプの参加者等の意見を踏まえ、開催形式や内容を柔軟に検討していく。</p>
